



蹴鞠



Kemari

2012年
10月3日(水)~12月3日(月)

上：「蹴鞠図」原在孝画

中央：鞠

背景：香色雷文唐花菱蟹胆丸文金紗上（部分）

右上から時計回りに：

紫組懸緒立烏帽子、桃色紫片身替唐花菱亀甲丸金紗上、
有紋煙草鞆鴉笥、紅白片身替葛袴、蘇芳十骨桜樹文扇
すべて天理参考館蔵品

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>



- 【開館時間】9：30～16：30（入館は16：00まで）
- 【休館日】火曜日（ただし11/27は開館）
- 【会場】3階企画展示室
- 【入館料】大人400円 団体300円（20名以上）
小・中学生200円（学校単位の団体無料・要事前申込）

【後援】奈良県天理市／奈良県教育委員会／天理市教育委員会／
読売新聞社／NHK奈良放送局

【協力】蹴鞠保存会／談山神社／白峯神宮／天理図書館／
社団法人奈良県サッカー協会／天理大学サッカー部／天理高校サッカー部



談山神社（2012.4.29撮影）

関西から



第67回企画展

蹴鞠

蹴鞠は日本におけるサッカーのルーツと広い意味で捉えられています。Jリーグ開幕前に国立競技場で蹴鞠が披露されたのをご覧になった方も多いでしょう。蹴鞠は中国から伝来したと伝えられていますが、長い年月にわたるその歩みのなかで日本の文化伝統によって独自のスタイルを確立し、様式として東アジアには例を見ない足を使った運動に発達します。あえて「運動」としたのは、蹴鞠が「競技」と呼ぶにはそぐわないからです。蹴鞠は、基本的に鞠を地面に落とさず、多くの回数を蹴り続けることを競う運動です。その様式とはどのようなものなのか、一体どんな決まり事があるのか、今回の展示でご紹介いたします。

なお、装束、鞠、道具類のほか、日本で有数の蹴鞠関連文書を所蔵する天理図書館の協力を得て、その史料の一部も併せてご覧いただきます。

Kemari



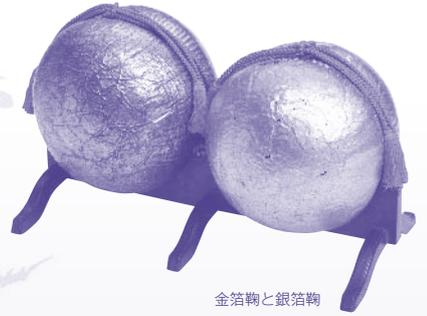
海松色桜樹摺箔上



紫下藤松葉散金紗上・朱四ツ組緒



各種金紋紗無紋縫合上・朱四ツ組緒



金箔鞠と銀箔鞠



紫組懸緒烏帽子と烏帽子箱



朽葉萌黄各替葛袴・有紋燻露革

イベント

- 蹴鞠実演 ※(1)のみ観覧無料 但し展示を御覧になる場合は入館料が必要です
 日時：10月8日(月・祝) 11:00と13:30の2回 場所：天理参考館南側広場
 内容：蹴鞠保存会会員10名による実演と解説
 ◎雨天の場合は1階エントランスホールでおこないます
 - 蹴鞠装束着付実演
 日時：10月21日(日) 13:30から 場所：研修室
 内容：蹴鞠保存会会員2名による装束着付実演と鞠についての解説
- トーク・サンコーカン
 日時：11月24日(土) 13:30から 場所：研修室
 「貴公子とスポーツ～蹴鞠～」 幡鎌真理(当館学芸員)

列品解説

日時：10月26日(金)・11月26日(月)
 とともに13:30から 場所：3階企画展示室

世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学 附属
天理参考館
 TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
 TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
 URL <http://www.sankokan.jp/>



アクセス：JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分
 西名阪天理インターより南へ約3km (駐車場あり・無料)